※令和４年度以降入学生用

| 学校番号 | 1204 |
|---|---|

# 令和５年度　国語科

| 教科 | 国語 | 科目 | 近代文学講読 | 単位数 | １単位 | 年次 | ２年次 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 使用教科書 | なし　（自主教材） | | | | | | |
| 副教材等 | なし | | | | | | |

## １　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・近代という時代に成立した作品に触れることで、その時代の雰囲気を感じ、その時代に生きた人々の心情を理解するとともに、小説を読み味わう楽しさが身につくよう授業を展開していきます。
・様々な作品に触れることができます。

## ２　学習の到達目標

近代文学に触れることで、その時代特有の雰囲気等を理解するとともに、作品を読み味わう楽しみを身に着ける。
【知識及び技能】
・時代背景も含め、近代の基礎知識（文化・歴史・ことば等）を理解する。
・作品の読解を通じて、当時の人々の考えを知り、主題について理解する。
【思考力・判断力・表現力等】
・近代の基本的な知識から、近代という時代がどのような時代であったのかを考え、表現することができる。
・当時の時代背景から人々の思いについて考えを深め、言語化し表現することができる。
【学びに向かう力・人間性等】
・近代という時代に生きた人々に思いをはせ、積極的にその思いを理解しようとする。

## ３　評価の観点及びその趣旨

| 観点 | a　知識・技能 | b　思考・判断・表現 | c　主体的に学習に取り組む態度 |
|---|---|---|---|
| 観点の趣旨 | ・近代文学に親しむために必要な、その時代特有の語句や言い回し、時代背景等を理解している。 | ・文学作品の背景を理解し、それぞれの作品の主題について考え、表現しようとしている。 | ・文学作品の読解を通じて、その作品の作者や同時代の人物たちに関心を持とうとしている。 |

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

※令和４年度以降入学生用

４　学習の活動

| 学期 | 単元の学習内容 | 単元の評価規準 | 評価方法 | | |
|---|---|---|---|---|---|
| | | | 知(a) | 思(b) | 主(c) |
| 一学期 | 文学史<br>［教材］自主教材 | a：作品名と作者、その成立の背景について理解している。<br>b[話／聞]：人物や作品について情報を収集して理解を深め、相手に伝える工夫をしている。<br>c：自らの伝えたいことについて、その示し方を粘り強く考えようとしている。 | 記述の分析<br>ワークシート<br>定期考査 | 行動の分析<br>（発表）<br>記述の分析<br>（ワークシート） | 記述の確認<br>ワークシート<br>振り返りシート |
| | 明治の歌人たち<br>（与謝野晶子・石川啄木）<br>［教材］自主教材 | a：構成や言葉の持つ意味とその効果について理解している。<br>b[読]：作品の成立した背景を踏まえ、内容の解釈を深めるため工夫をしている。<br>c：作品に描かれた心情や情景から、自分の考え・感じ方を深めようとしている。 | 記述の分析<br>ワークシート<br>定期考査 | 記述の確認<br>（ワークシート） | 記述の確認<br>ワークシート<br>振り返りシート |
| 二学期 | 樋口一葉「たけくらべ」<br>［教材］自主教材 | a：言葉の持つ意味とその効果について理解している。<br>b[読]：作品の成立した背景を踏まえ、内容の理解と解約を深めようと工夫している。<br>c：作品に描かれた人物の心情から、自分の考え・感じ方を深めようとしている。 | 記述の分析<br>ワークシート<br>定期考査 | 記述の確認<br>（ワークシート） | 記述の確認<br>ワークシート<br>振り返りシート |
| 三学期 | 夏目漱石<br>「永日小品」「夢十夜」<br>［教材］自主教材 | a：構成や言葉の持つ意味とその効果について理解している。<br>b[書]：内容の解釈を深め、自分なりの考えを他者に伝わるよう表現を工夫している。<br>c：作品に描かれた人間関係等を通して、進んで主題について考えようとしている。 | 記述の分析<br>ワークシート<br>定期考査 | 記述の確認<br>（ワークシート） | 記述の確認<br>ワークシート<br>振り返りシート |

※表中の観点について　a：知識・技能　b：思考・判断・表現　c：主体的に学習に取り組む態度

※単元の評価規準[ｂ]について…括弧内には[　話／聞、書、読　]のどれか一つを記入して下さい。

※年間の各領域時間数

・話すこと／聞くこと　…　（　３　）時間

・書くこと　…　（　５　）時間

・読むこと　…　（　５　）時間